

児童発達支援「キッズすてっぷかいぜ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和4年12月12日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか 児童の障害特性やその日の状況によってスペースをパーティションで区切ったり、或いはオープンにしたり工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか 基準を満たす配置は行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか 一人一人の障害特性にあった空間を作る事ができるように配慮している。また、視覚的な絵カードや写真などの手がかりを通して、情報を得られやすいようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか 児童が来所してから活動に入るまでの動線を考えながら生活空間を整えるようにしている。コロナウイルス対策の上でも、玩具や机、椅子等、身の回りにある物全ての消毒徹底に努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか 職員間で共通認識を図りながら支援を行う事ができるように、定期的に若しくは必要に応じて話し合いの場を設けている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか 年に一度保護者様へのアンケートを行い、業務全般を見直す手立てとしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか 毎年、職員の自己評価と保護者様のアンケートを集計し、ホームページで結果を公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 第三者評価は受けていないが、今後受ける機会があれば積極的に対応したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか 社内で行われる研修や外部講師による研修に参加し、療育の質の向上に努めている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 定期的に計画の見直し（モニタリング等）を実施し、保護者様や児童の今の状況やニーズを把握するようにしている。また、それを計画に反映させるように努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 保護者様から聞き取りをしたアセスメントや相談支援事業所からの情報提供、OT、PT、専門機関の発達検査の結果を参考にし支援に繋げている

適切な支援提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	ガイドラインを参考にしながら、具体的な支援計画を作成するようにしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	児童発達支援計画書を念頭に置きながら、支援目標を達成できるように働きかけている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティングを通して職員で意見を出し合い、活動プログラムを作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	放課後デイサービスで様々な体験をし、個々の育ちに繋がっていけるようにPDCAサイクルを大切にしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	個々の特性に合わせて計画書を作成している。計画した個別活動や集団活動のねらいを明確にし支援に臨みたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	平日や学校休業日、長期休暇によって支援内容も異なってくるので、事前の打ち合わせは大切にしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後には、短い時間であってもその日の振り返りを行い、その日あった事の報告や連絡、情報交換をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々の記録を個別で記載している。個別支援計画書で立案した支援目標を元にしながら、個々の育ちを確かめている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回は個別支援計画の評価を行い、保護者様の意見も取り入れながら計画の見直し、立案を行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達管理責任者が子供の状況を十分に踏まえて参画している。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	専門機関と連携を取りながら助言を受け、子どもの療育に活かすことができるようにしている。	

関係機関や保護者との連携

23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	現在その対象となる児童が在籍していないが、今後医療的ケアが必要な子どもが利用される際は関係機関と連携を図り支援していきたい。
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	現在その対象となる児童が在籍していないが、今後医療的ケアが必要な子どもが利用される際は主治医と連携を図りたい。
25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	定期的にはではないが、必要に応じて情報共有や相互理解を図るように努めている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	定期的にはではないが、必要に応じて情報共有や相互理解を図るように努めている。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	今後在籍している児童で必要があれば、他の児童発達支援センター等の専門機関と連携をし積極的に助言を頂きたい。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	これから先、障害のない子ども達と一緒に活動する機会があれば積極的に参加をさせて頂きたい。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	案内があった際は参加するようにしている。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々の連絡帳のやり取りや、必要に応じて電話や面談で個々の様子を伝えるようにしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	保護者様から相談があった際は、ペアレントトレーニングを踏まえた助言を行っている。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明を行うが、その後も保護者様が利用について不明な事があればその都度説明を行っている。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	計画書を作成するにあたり、十分な保護者様への聞き取りを行い計画書に反映させている。また、保護者様に児童発達支援計画について同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の連絡帳のやり取りや、必要に応じて電話や面談で個々の様子を伝え助言や支援に繋げている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナウイルス感染症の影響を受け、保護者様同士の交流はひかえてきたが、今後コロナウイルスが減少傾向になれば保護者会を検討したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	相談や申し入れがあった時は、内容に沿って電話や面談で対応をするようにしている。必要に応じて、相談支援員へ繋ぐこともある。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に3回のブログ発信や毎月のキッズすてっぷかいぜの会報を通して活動や療育内容を分かり易くお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	児童及び職員の個人情報については、細心の注意を払い取り扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	言葉での意思の疎通が難しい児童については、絵カードや写真等を活用しながら支援に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	コロナウイルス感染症の影響を受け、地域の方との交流はひかえている。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	キッズすてっぷとしてのマニュアルは作成している。マニュアルを保護者様にも周知できるように今後取り組んでいきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防署の職員に来所頂き災害に備えた研修を受講したり、年に2回避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	契約の際に一人一人の既往歴や服薬状況、予防接種の確認を行い、事業所で服薬が必要な場合は必ず与薬依頼書を提出して頂いている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーにおいて、医師の診断書を要する児童は在籍していないが保護者様との面談（契約時）に詳しく聞き取りを行っている。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集は作成していないが、ヒヤリハットに値する事例が発生した際はその都度事例検討を作成し、事故防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	事業所内でキッズすてっぷのマニュアルに沿った虐待防止の研修を行ったり、外部講師の虐待研修にも参加をしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	身体拘束が必要な児童は在籍していない。